

第1号様式（第6条関係）

年度大分県消費生活相談員資格試験受験料等助成事業費補助金
交付申請書兼実績報告書

年 月 日

大分県知事 殿

住 所
(フリガナ)
氏 名
電話番号

大分県消費生活相談員資格試験受験料等助成事業費補助金交付要綱第6条の規定により、補助金の交付を受けたいので、下記のとおり交付申請し、併せてその実績を報告します。

1 試験名称及び試験機関（該当するものに○）

<input type="checkbox"/>	消費生活相談員資格試験（独立行政法人国民生活センター）
<input type="checkbox"/>	消費生活アドバイザー資格試験（一般財団法人日本産業協会）

2 申請内容（第2次試験に要した交通費の補助が不要な者は(2)は記載不要）

(1)受験手数料 ※事務手数料、払込手数料除く	円
(2)第2次試験に要した 公共交通機関利用料金	円（上限：10,000円） ※第2号様式に利用交通機関等を記載してください。
(3)対象経費	円 ※(1)の受験手数料 + (2)の公共交通機関利用料金
(4)交付申請額	円 ※(3)の金額×1/2（1円未満切り捨て）

3 必要添付書類（▲は第2次試験に要した交通費の補助を希望する者のみ）

- 合格証等の写し
- 大分県消費生活相談員人材バンク登録申請書
- 第2次試験受験票の写し【消費生活アドバイザー資格試験受験者のみ】
- 第1次試験合格通知書の写し【消費生活相談員資格試験受験者のみ】
- 第2次試験に要した交通費内訳書（第2号様式）
- 誓約書（別紙）

第2号様式（第6条関係）

第2次試験に要した交通費内訳書

氏名 _____

1 第2次試験会場名（都道府県名）

2 利用した公共交通機関・区間 ※タクシー利用は除く

年月日	公共交通機関名	往復 片道	区間	金額 ※往復の場合 は往復利用分
例)R〇.〇.〇	JR	往復	〇〇駅⇔〇〇駅	〇,〇〇〇円
例)R〇.〇.〇	バス	片道	〇〇前→〇〇前	〇〇〇円
例)R〇.〇.〇	地下鉄	片道	〇〇駅→〇〇駅	〇〇〇円

3 交通費の合計金額

_____ 円

第3号様式（第7条関係）

年度大分県消費生活相談員資格試験受験料等助成事業費補助金
交付決定通知書兼額の確定通知書

第 号
年 月 日

殿

大分県知事

年 月 日付けで提出のあった 年度大分県消費生活相談員資格試験受験料等助成事業費補助金交付申請書兼実績報告書に基づき、下記のとおり交付を決定し、額を確定しましたので、大分県消費生活相談員資格試験受験料等助成事業費補助金交付要綱第7条の規定により通知します。

記

- 1 補助金の交付決定並びに確定額 金 円
- 2 補助条件は、次のとおりとする。
 - (1) 大分県消費生活相談員人材バンクへの登録者であること。
 - (2) 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団（同法第2条第2号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団員と密接な関係を有する者でないこと。
 - (3) その他、大分県補助金等交付規則及び大分県消費生活相談員資格試験受験料等助成事業費補助金交付要綱の定めに従うこと。

第4号様式（第9条関係）

年度大分県消費生活相談員資格試験受験料等助成事業費補助金
交付請求書

年 月 日

大分県知事 殿

住 所
(フリガナ)
氏 名
電話番号

年 月 日付け 第 号で額の確定通知のあった大分県消費生活相談員資格試験受験料等助成事業費補助金を精算払の方法により交付されるよう、大分県消費生活相談員資格試験受験料等助成事業費補助金交付要綱第9条の規定により下記のとおり請求します。

記

補助金請求額 金 円

【口座振込先】

銀行名	
本・支店名	
口座種別	普通 ・ 当座 ※該当するものを選択
口座番号	
(フリガナ)	
口座名義	

※ご本人名義の口座に限ります。